I·O DATA

HDA-iUシリーズ
取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

99884-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

厳守

ACアダプタについては以下にご注意ください。

●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

⚠ 注意

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ハードディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発砲スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止

本製品内部で結露させたまま使わない。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本製品にアクセス中は、省電力モードにしない

本製品にアクセスしている最中は、スタンバイ/休止/スリープなどの省電力モードにしないでください。

●本製品にソフトウェアをインストールしない

OS起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。

●他のUSB機器を使う場合は、下記に注意する

・本製品の転送速度が遅くなることがあります

・本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります

その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

●本製品からOSは起動できない

本製品からのOS起動はサポートされておりません。

●Mac OSとWindowsで併用はできない

フォーマット形式の違いにより、併用することはできません。

●Mac OS Xでコピーする際は、ファイルシステムの違いに注意する

コピー元とコピー先でファイルシステムが異なると、エラーが発生する場合があります。その場合は、ファイル名（文字や文字数）を変えてください。
本製品を「Mac OS拡張」で初期化して使うことをおすすめします。

●下記の2つのケーブルを本製品に同時に接続しない

故障の原因となります。

・添付のUSBケーブル

・別売のi·CONNECT対応オプション

●添付のUSBケーブルを接続したときのみ、電源連動機能が働く

i・CONNECT対応オプションを接続した場合は、電源連動機能は働きません。
また、電源連動機能が働くと、電源スイッチを「ON」にしただけではドライブの電源ランプは点灯しません。
起動済みのパソコンに接続するとドライブの電源ランプが点灯します。
電源連動機能については26ページの参考をご覧ください。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	HDA-iUシリーズ
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98	Windows MeおよびWindows 98の総称
Windows	Windows Me/98、Windows 2000の総称
Mac OS 9	Mac OS 9～9.2.1の総称
Mac OS X	Mac OS 10.0.3～10.1の総称

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

はじめに

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

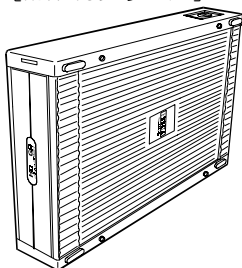
参考

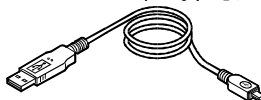
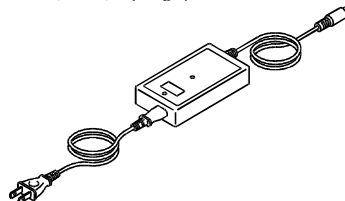
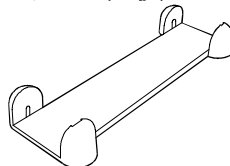
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

☐ **ハードディスク（1台）**
［HDA-iUシリーズ］

☐ **ラバーフット（4個）**［横置き用］

☐ **USBケーブル（1本）**［約1m］

☐ **ACアダプタ（1個）**

☐ **スタンド（1個）**［縦置き用］

□ HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト（１枚）

［ハイブリッドCD-ROM(Windows/Mac OS)］

・USB 2.0 CC サポートソフト（ケーブル用ドライバ）
・ASPIFORM（Windows Me/98用フォーマットットソフト）

☑ HDA-iUシリーズ取扱説明書（１冊）［本書］

□ HDAシリーズのハードウェア仕様（１枚）

□ ハードウェアシリアルNo.シール（１枚）

□ ユーザー登録カード（１枚）

□ ハードウェア保証書（１枚）

参考

ユーザー登録は済ませましたか？

「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・本製品を接続できるUSBポートがあること。
※USB 2.0機器としての動作には、USB 2.0環境が必要です。弊社では、弊社製USB 2.0インターフェイスにて確認しております。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせください。
※USB 1.1ポートを搭載した機種や弊社製USBインターフェイスボード「USB-PCI」を装着した機種でもご利用いただけます。
ただし、本製品はUSB 1.1機器として動作します。
・本製品を使えるようにする時にCD-ROMドライブがあること。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
NEC PC98-NXシリーズ, DOS/Vマシン※1※2※3※4	Windows XP Windows 2000※5 Windows Me Windows 98(SEを含む)

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※2　次の機種(2001年7月末現在)では、本製品をUSB 1.1環境で使えません。
　東芝製 DynaBook SS PORTEGE6000、DynaBook Satellite2520シリーズ
　SOTEC製 e-note M260TX2/M260TX3
※3　本製品をUSB 1.1環境でお使いの場合、COMPAQ製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590では、パソコンのBIOSアップデートが必要です。
詳しくは、コンパック プレサリオ サポートセンターにお問い合わせください。
※4　USBのハードディスクから起動することができる一部機種で、制限があります。詳しくは、下記をご覧ください。
【本製品を接続した状態でパソコンを起動すると本製品のアイコンが２つ表示される】(92ページ)
【本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動の途中でパソコンが動かなくなる】(92ページ)
※5　弊社製 USB2-PCIに接続される場合は、「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」のバージョン2.00以降をお使いください。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
Apple iMac(iMac DVを含む),iBook PowerMac G4 Cube, PowerMac G4, PowerMacintosh G3 (Blue & White), PowerBook G4, PowerBook G3(Bronze keyboard)	Mac OS※6 9～9.2.1 Mac OS※6 10.0.3～10.1

※6　USB 1.1のみの対応となります。

各部の名称

スイッチなどの名前と機能を説明します。

HDA-iUシリーズ

●前背面

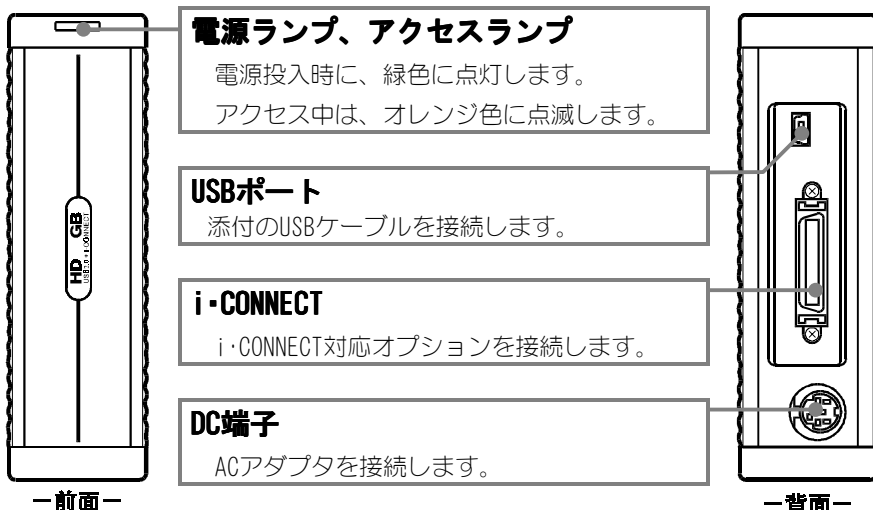
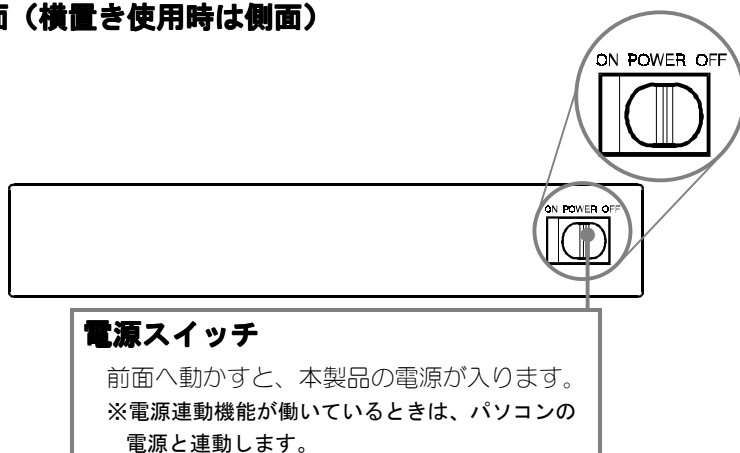
電源ランプ、アクセスランプ
電源投入時に、緑色に点灯します。
アクセス中は、オレンジ色に点滅します。

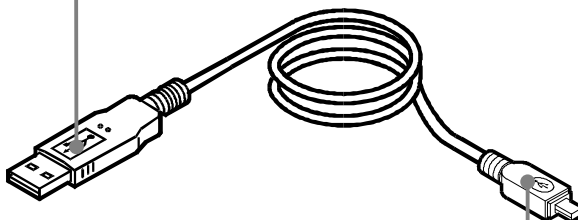
USBポート
添付のUSBケーブルを接続します。

i・CONNECT
i・CONNECT対応オプションを接続します。

DC端子
ACアダプタを接続します。

●上面（横置き使用時は側面）

電源スイッチ
前面へ動かすと、本製品の電源が入ります。
※電源連動機能が働いているときは、パソコンの電源と連動します。

USBケーブル

USBコネクタ（Aタイプ）
USBポートに接続します。

USBコネクタ（miniBタイプ）
ハードディスクのUSBポートと接続します。

参考

USBケーブルについて
添付のUSBケーブルは、本製品専用です。
他のUSB機器に接続しての使用は保証いたしかねます。

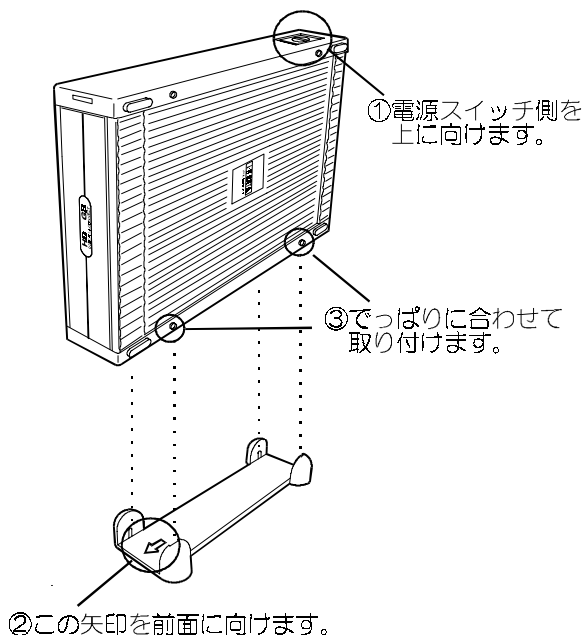
添付品を取り付けよう

添付品の取り付けについて説明します。

縦置きで使う　～スタンドの取り付け～

①電源スイッチ側を
上に向けます。

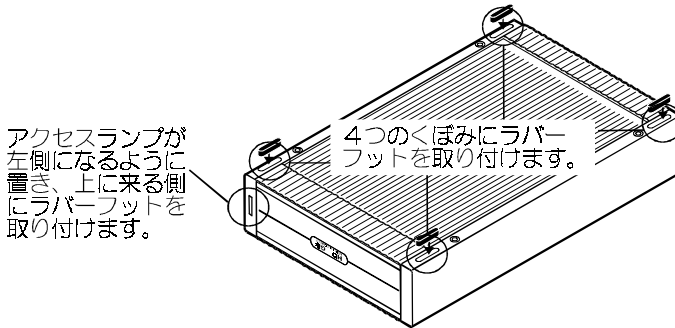
③でっぱりに合わせて
取り付けます。

②この矢印を前面に向けます。

横置きで重ねず使う　～ラバーフットの取り付け～

本製品を安定した場所に置き、４個所にラバーフットを取り付けます。取り付けた後は、ラバーフットを下にして置いてください。

※本製品を他のHDAシリーズやMOAシリーズの上に重ねて使用する場合は、ラバーフットは取り付けないでください。

アクセスランプが左側になるように置き、上に来る側にラバーフットを取り付けます。

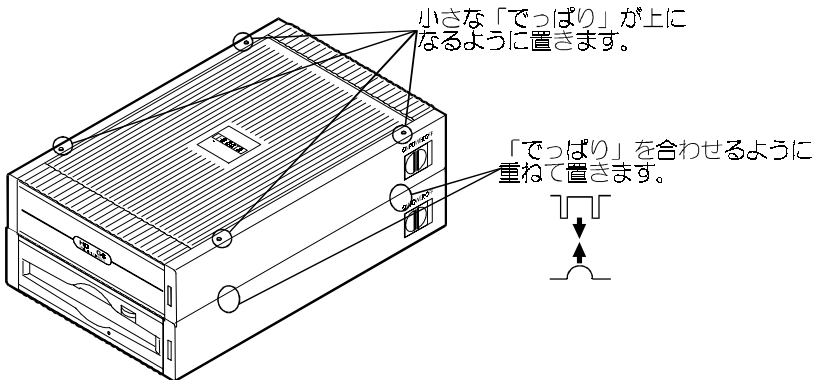
４つのくぼみにラバーフットを取り付けます。

横置きで重ねて使う

MOAシリーズや他のHDAシリーズと重ねて置けます。（本製品を含めて２台まで）

下に置くものには、上をご覧になり、ラバーフットを取り付けてください。

上に重ねるものは、そのまま図のように置いてください。

小さな「でっぱり」が上になるように置きます。

「でっぱり」を合わせるように重ねて置きます。

お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章	
Windows XP	【Windows XPでお使いの場合】	次ページ
Windows 2000	【Windows 2000でお使いの場合】	29ページ
Windows Me/98	【Windows Me/98でお使いの場合】	49ページ
Mac OS 9	【Mac OS 9でお使いの場合】	67ページ
Mac OS Ｘ	【Mac OS Ｘでお使いの場合】	77ページ

Windows XPでお使いの場合

使えるようにしよう

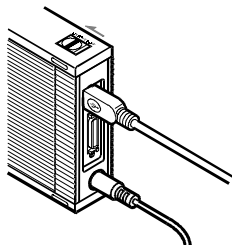
はじめて本製品をUSBポートに接続する際の手順について説明します。

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows XPにコンピュータの管理者アカウントでログオンします。

接続する

USBポートへの接続について説明します。

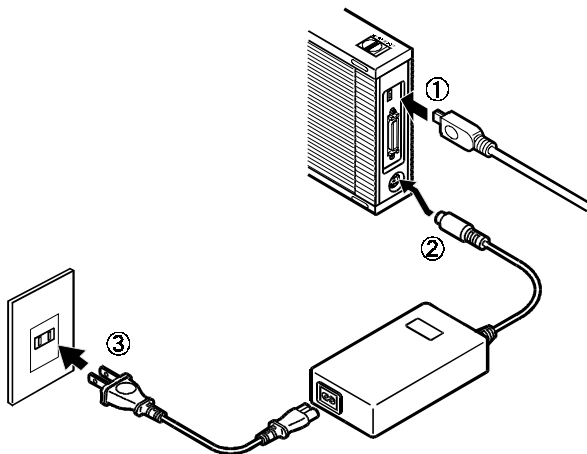
2 ハードディスクにケーブル、ACアダプタを接続します。

①「USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）」を、「ハードディスクのUSBポート」にまっすぐに接続します。

②ハードディスクに、添付のACアダプタを接続します。

③ACアダプタを電源コンセントに接続します。

①

②

③

3 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを「ON」にします。

電源ランプの点灯

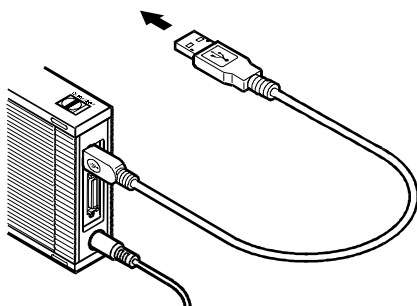
電源連動機能により、本製品の電源ランプは点灯しません。

起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯し、本製品の電源が入ります。

電源連動機能については、26ページの参考をご覧ください。

4 本製品をUSBポートに接続します。

「USBケーブルのUSBコネクタ（Aタイプ）」をUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

5 右下に「ふきだし」が表示されます。

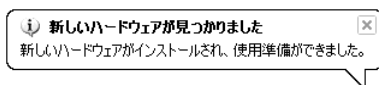
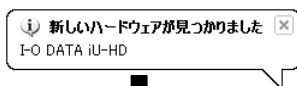
ふきだしの中の表示が変わっていき、最終的に下のように表示されます。

「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」

新しいハードウェアが見つかりました
I-O DATA iU-HD

↓
↓
↓

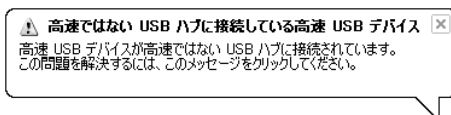
新しいハードウェアが見つかりました
新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。

参考

USB 1.1ポートに接続した場合は

下のような表示が出ます。

USB 2.0ポートをお持ちの場合は、そちらに接続してください。

※ Windows UpdateにてUSB 2.0に対応していない場合は、USB 2.0ポートに接続しても、このふきだしが表示されます。

高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス
高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。
この問題を解決するには、このメッセージをクリックしてください。

以上で本製品は使えるように設定されました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

1 ［マイコンピュータ］を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

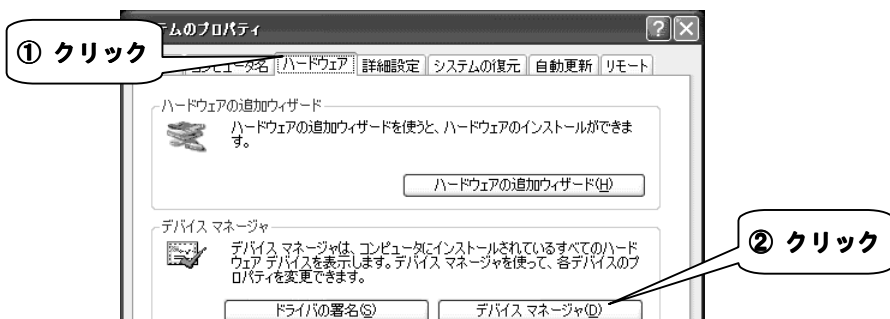
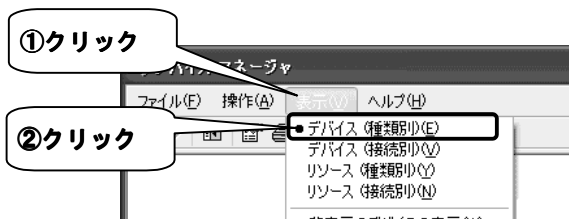
2 ［システム情報を表示する］をクリックします。

「システムのタスク」内にある［システム情報を表示する］をクリックします。

クリック

3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

①［ハードウェア］タブをクリックします。

②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

① クリック

② クリック

4 ［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。

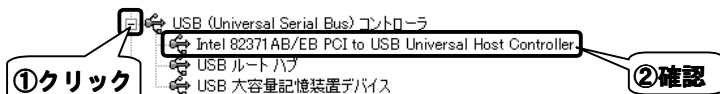
①クリック
②クリック

5 USBコントローラの名前を確認します。

①［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］の左にある⊞をクリックします。

⇒その下が表示されます。

②USBコントローラの名前を確認します。

①クリック
②確認

USBコントローラの名前は･･･

通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラが２つ以上ある場合があります

その場合は、全てのUSBコントローラを確認してください。

USBコントローラに［!］が付いている

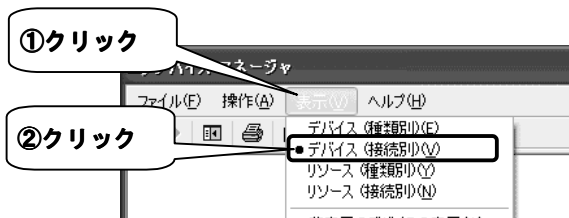
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 ［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。

①クリック
②クリック

7 USBコントローラの名前を探します。

手順5で確認したUSBコントローラを探します。

参考

USBコントローラの位置は･･･

通常、USBコントローラは［PCIバス］の下にあります。
［PCIバス］は、［ACPI(Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

8 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。

7 探す

Intel(r) 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller
USB ルート ハブ
USB 大容量記憶装置デバイス

8 確認

注意

［USBルートハブ］に［!］が付いている

パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

［USB大容量記憶装置デバイス］に［!］が付いている

もう一度【使えるようにしよう】(30ページ)の手順を行ってください。

［USB大容量記憶装置デバイス］がない

【接続する】(32ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

9 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ☒ をクリックします。

フォーマットしよう

本製品をフォーマットします。

本製品は、最初に一度フォーマットしなければ使えません。
ここでは、Windows XPでフォーマットする手順について説明します。

注意

フォーマットすると、データはすべて消去されます
ハードディスクに必要なデータがある場合は、先に、別のハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

参考

コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください
Windows XPで本製品をフォーマットする場合は、コンピュータの管理者アカウントでログオンする必要があります。

Windows Me/98と併用する場合は･･･
Windows Me/98で本製品のフォーマットを行ってください。
Windows XPでフォーマットするとWindows Me/98で認識されない場合があります。詳細は、【ファイルシステムについて】(105ページ)を参照してください。

本製品は「ダイナミックディスク」として使えません
USBハードディスクは、ディスクのアップグレードをできません。
ダイナミックディスクについての詳細は、Windows XPの取扱説明書かオンラインヘルプをご覧ください。

本書でのフォーマットについて
本書では、ハードディスクを分割せずに、１つのドライブとして使う場合について説明しています。

ディスクの初期化

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows XPにコンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 「コントロールパネル」を起動します。

［スタート］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

⇒［コントロールパネル］が起動されます。

3 「コンピュータの管理」を起動します。

①［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。

②［管理ツール］をクリックします。

③［コンピュータの管理］をダブルクリックします。

⇒［コンピュータの管理］が起動されます。

パフォーマンスとメンテナンス ①クリック

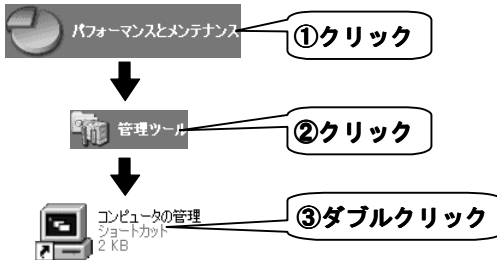
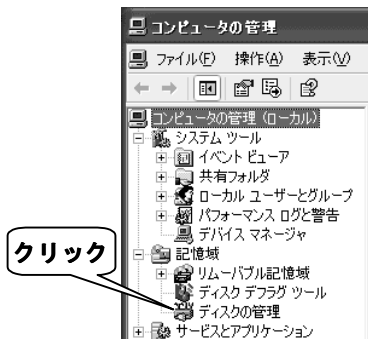
管理ツール ②クリック

コンピュータの管理
ショートカット
2 KB ③ダブルクリック

4 ［ディスクの管理］をクリックします。

⇒「ディスクの初期化と変換ウィザード」が表示されます。

コンピュータの管理
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)
コンピュータの管理 (ローカル)
システム ツール
イベント ビューア
共有フォルダ
ローカル ユーザーとグループ
パフォーマンス ログと警告
デバイス マネージャ
記憶域
リムーバブル記憶域
ディスク デフラグ ツール
ディスクの管理
サービスとアプリケーション
クリック

注意

「ディスクの初期化と変換ウィザード」が表示されない

・ハードディスクが正しく接続されていません。
・表示されない設定になっています。
ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された［署名］をクリックしてください。
・ハードディスクは初期化されています。
【パーティションの作成】(22ページ)へお進みください。

5 ［次へ］ボタンをクリックします。

ディスクの初期化と変換ウィザード

ディスクの初期化と変換ウィザードの開始

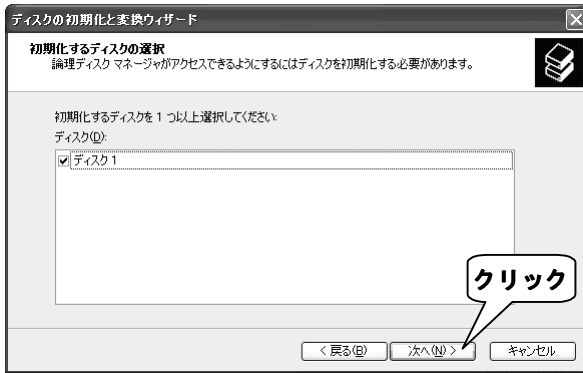
このウィザードで、新しいディスクを初期化し、空のベーシック ディスクをダイナミック ディスクに変換することができます。

ダイナミック ディスクを使用して、ソフトウェア ベースの RAID ボリュームを作成できます。これらのボリュームは複数のディスクにまたがってミラー処理、ストライプ処理、またはスパン処理することができます。システムを再起動せずにシングル ディスクやスパン ボリュームを拡張することもできます。

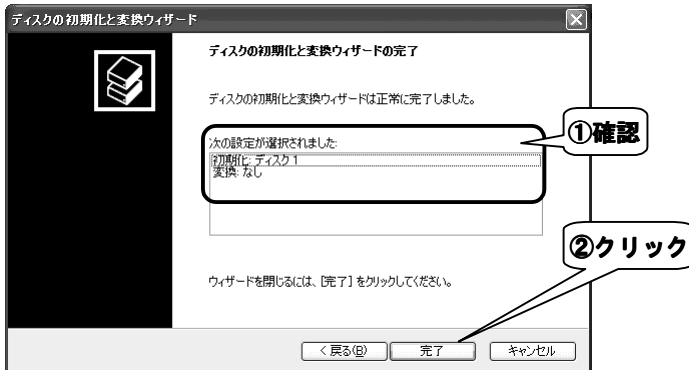
ディスクをダイナミック ディスクに変換すると、変換したディスクのボリュームでは Windows 2000 およびそれ以降のバージョンの Windows のみしか使用できません。

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

クリック

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

7 設定を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

設定が正しいことを確認し、［完了］ボタンをクリックします。
⇒初期化が行われます。

以上でディスクは初期化されました。
次は、パーティションを作成します。

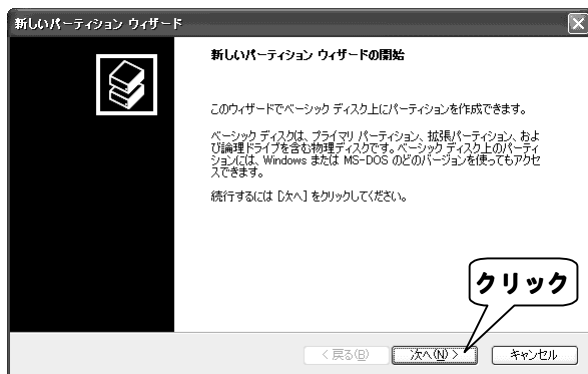
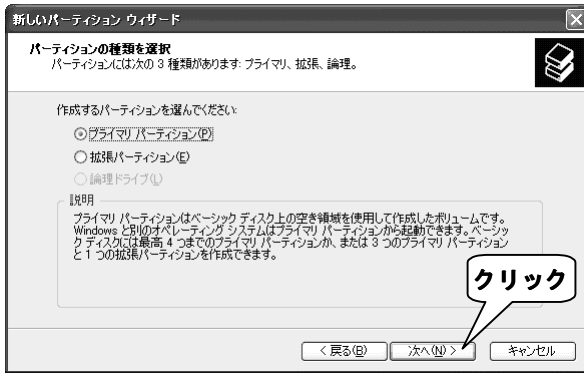
パーティションの作成

1　「新しいパーティションウィザード」を起動します。

①フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックします。

②表示された［新しいパーティション］をクリックします。

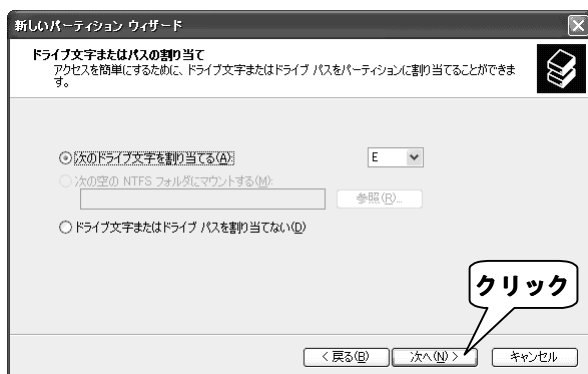
⇒「新しいパーティションウィザード」が起動します。

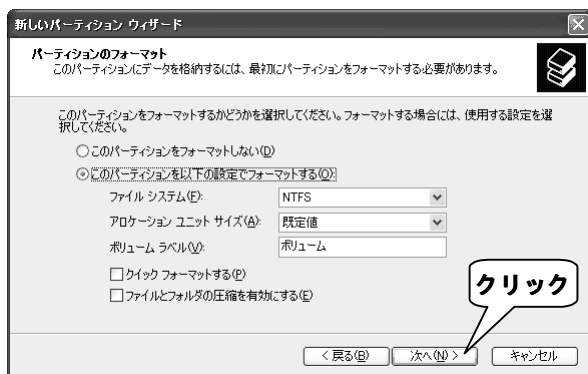
2　［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［次へ］ボタンをクリックします。

拡張パーティションについて

ここでは、［拡張パーティション］を選ぶこともできます。
ハードディスクを５つ以上に分割したい場合は、「拡張パーティション」を作成する必要があります。
詳細は、Windows XPの取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。

パーティションサイズについて

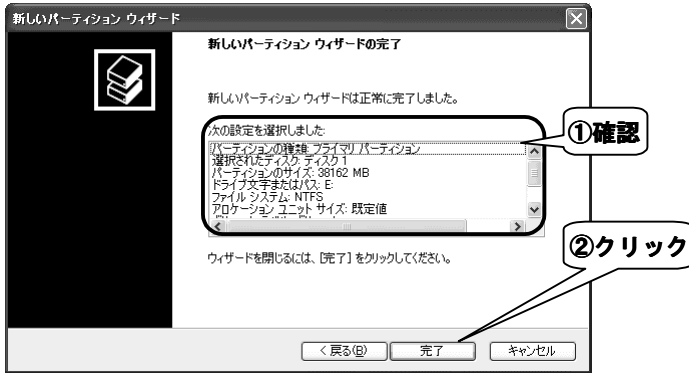
ここでは、最大値のままの設定にされています。
ハードディスクを分割したい場合は、［パーティションサイズ］を［最大ディスク領域］より小さくする必要があります。
詳細は、Windows XPの取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

5 ［次へ］ボタンをクリックします。

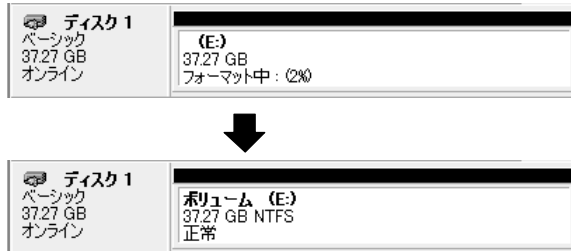
ドライブ文字について
ここで割り当てたドライブ文字が、作成するドライブのドライブ文字になります。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

ファイルシステムについて
ハードディスクをWindows XPのみで使う場合は、［NTFS］のままにしてください。
他のOSでも使う場合は、使うOSにも対応したファイルシステムをお使いください。
詳しくは、【ファイルシステムについて】(105ページ)をご覧ください。

7 設定を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

設定が正しいことを確認し、［完了］ボタンをクリックします。

⇒パーティションの作成とフォーマットが行われます。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。

フォーマットが終わると、「マイコンピュータ」にハードディスクのアイコンが表示されます。

作成したパーティションの次回からのフォーマットについて

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

以上で本製品はフォーマットされました。
フォーマット後は、再起動せずにそのまま本製品を使えます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	
本製品を接続する	28ページ
本製品を取り外す	

本製品の電源を入れる

電源スイッチをONにしたままで、電源の入ったパソコンに接続すると、電源が入ります。（電源連動機能）

参考

電源連動機能

接続したパソコンの電源に連動して、本製品の電源が入／切されます。
この機能により、接続したままにしておくとパソコンの電源だけで本製品の電源を入／切する必要が無くなります。
条件：添付のUSBケーブルを接続し、本製品の電源スイッチがONになっていること。
※i･CONNECT対応オプションを接続した場合は、この機能は働きません。

本製品の電源を切る

操作	
●パソコン→本製品の順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る	次ページ

●パソコン→本製品の順に電源を切る

パソコンの電源を切ると、自動的に本製品の電源も切れます。（電源連動機能）

●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る

1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

クリック

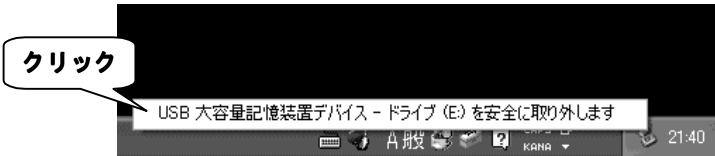
リムーバブルツール

2 表示された［USB大容量記憶装置･･･］をクリックします。

複数のUSB 2.0機器を接続している場合は、［USB大容量記憶装置デバイス］の後に表示されるドライブ文字にて区別します。

クリック

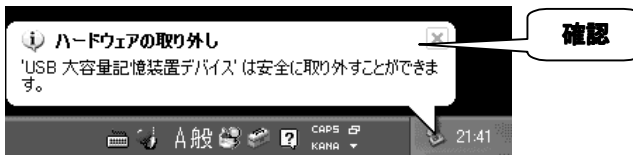
USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

①使っているソフトウェアを全て終了します。

②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→本製品の順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

3 ［ハードウェアの取り外し］が表示されたのを確認します。

ハードウェアの取り外し

'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。

確認

4 本製品をUSBポートから取り外します。

⇒電源連動機能によって、本製品の電源は切れます。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源スイッチをONにします。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(26ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

Windows 2000でお使いの場合

弊社製 USB2-PCIに接続される場合は
「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」のバージョン1.10以降をお使いください。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

USBケーブルを使えるようにする

USBケーブルを使えるようにします。

注意

まだUSBケーブルを接続しないでください

USBケーブルは本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（32ページの手順 8 以降で接続します。）

弊社製USB 2.0機器をすでにお使いの方へ

お使いの製品に添付されているCD-ROMに「USB 2.0 CC サポートソフト」が入っているかを、CD-ROMのラベルなどでご確認ください。
入っている場合は、バージョンを確認してください。

- **バージョンが本製品のものと同じか、新しい場合**
  手順 8 にお進みください。
- **バージョンが本製品のものより古い場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。
- **「USB 2.0 CCサポートソフト」が入っていない場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。

1 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

3 「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

4 [DDSETUP]アイコンをダブルクリックします。

[マイコンピュータ]→[HDAPUS2_xxx]→[USB2CC]→[DDSETUP]の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。

順にダブルクリック

マイ コンピュータ → HDAPUS2_xxx → USB2CC → DDSETUP

5 [インストール]を選択します。

[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

⇒自動でインストールされます。

デバイスドライバセットアップ

USB 2.0 CCのセットアップを行います。

① 選択 インストール

② クリック アンインストール

OK キャンセル

このような画面が表示されたときは

【USBケーブルを使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される(Windows 2000のみ)】(97ページ)をご覧ください。

DDSETUP

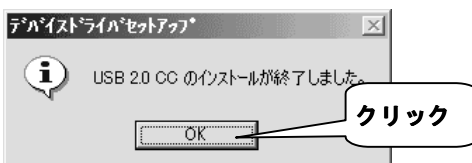
ファイル"C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥TPPSTRAY.EXE"は、現在使用されています。
全てのアプリケーションを終了してから、再度本プログラムを実行してください。

OK

6 [OK]ボタンをクリックします。

デバイスドライバセットアップ

USB 2.0 CC のインストールが終了しました。

OK クリック

7 「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

接続する

USBポートへの接続について説明します。

8 ハードディスクにケーブル、ACアダプタを接続します。

①「USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）」を、「ハードディスクのUSBポート」にまっすぐに接続します。

②ハードディスクに、添付のACアダプタを接続します。

③ACアダプタを電源コンセントに接続します。

9 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを「ON」にします。

参考

電源ランプの点灯

電源連動機能により、本製品の電源ランプは点灯しません。
起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯し、本製品の電源が入ります。
電源連動機能については、26ページの参考をご覧ください。

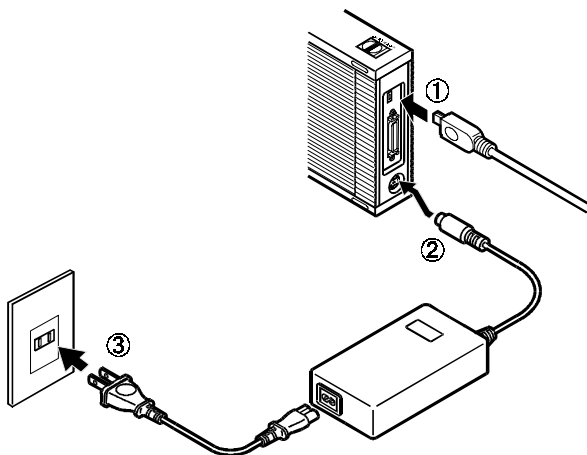
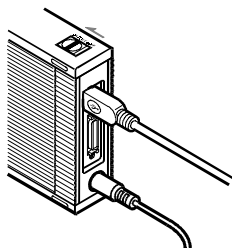
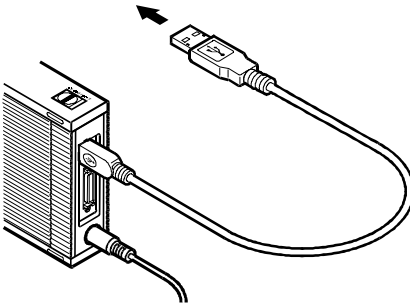
10 本製品をUSBポートに接続します。

「USBケーブルのUSBコネクタ（Aタイプ）」をUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

参考

はじめて本製品を接続した場合は

「新しいハードウェア」などの画面が表示され、しばらくすると消えます。

注意

［新しいハードウェア］などの画面が表示されたまま消えない

［キャンセル］ボタンをクリックし、本製品をUSBポートから取り外します。
その後、本手順を最初から行ってください。

以上で本製品は使えるように設定されました。
次は、ハードディスクをフォーマットしましょう。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

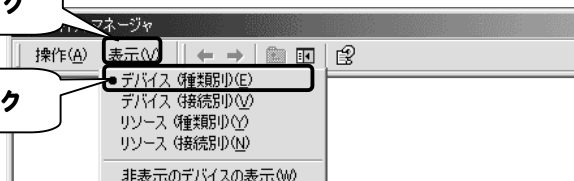
注意

USB 2.0インターフェイスに接続する場合
各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせの上、USB 2.0インターフェイスが正常に動作しているかどうかをご確認ください。
その後、【フォーマットしよう】(37ページ)にお進みください。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

4 ［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。

5 USBコントローラの名前を確認します。

①［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］の左にある⊞をクリックします。

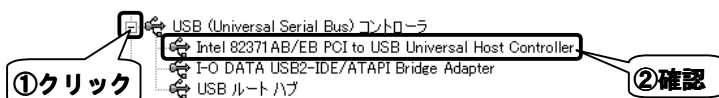
⇒その下が表示されます。

②USBコントローラの名前を確認します。

参考

USBコントローラの名前は･･･
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラが２つ以上ある場合があります
その場合は、全てのUSBコントローラを確認してください。

注意

USBコントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 ［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。

7 USBコントローラの名前を探します。

手順**5**で確認したUSBコントローラを探します。

➡ 画面例は次ページ

参考

USBコントローラの位置は･･･
通常、USBコントローラは［PCIバス］の下にあります。
［PCIバス］は、［ACPI(Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

8 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。

Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller
USB ルート ハブ
I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter

7 探す

8 確認

注意

[USBルートハブ] に [!] が付いている

パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

[I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter] に [!] が付いている

もう一度【使えるようにしよう】(30ページ)の手順を行ってください。

[I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter] がない

【接続する】(32ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

9 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある [X] をクリックします。

フォーマットしよう

本製品をフォーマットします。

本製品は、最初に一度フォーマットしなければ使えません。
ここでは、Windows 2000でフォーマットする手順について説明します。

注意

フォーマットすると、データはすべて消去されます
ハードディスクに必要なデータがある場合は、先に、別のハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

参考

本手順をする際は、Administrator権限でログオンしてください
Windows 2000で本製品をフォーマットする場合は、Administrator権限でログオンする必要があります。

Windows 2000とWindows Me/98とで併用する場合は･･･
Windows Me/98で本製品のフォーマットを行ってください。
Windows 2000でフォーマットするとWindows Me/98で認識されない場合があります。詳細は、【ファイルシステムについて】(105ページ)を参照してください。

本製品は「ダイナミックディスク」として使えません
USBハードディスクは、ディスクのアップグレードをできません。
ダイナミックディスクについての詳細は、Windows 2000の取扱説明書かオンラインヘルプをご覧ください。

ディスクの署名

まず、ディスクに署名を行います。

1 「コンピュータの管理」を起動します。

［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［管理］をクリックします。

2 ［ディスクの管理］をクリックします。

［記憶域］→［ディスクの管理］をクリックします。

⇒「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。

注意

「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されない

①本製品が正しく接続されていません。

【接続する】(32ページ)をもう一度ご覧ください。

②表示されない設定になっています。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［署名］をクリックしてください。

③本製品は署名されています。

【パーティションの作成とフォーマット】(41ページ)へお進みください。

3 ［次へ］ボタンをクリックします。

ディスクのアップグレードと署名ウィザード

ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始

このウィザードで、新しいディスクに署名し、空のベーシック ディスクをダイナミック ディスクにアップグレードすることができます。

ダイナミック ディスクを使用して、ソフトウェア ベースの RAID ボリュームを作成できます。これらのボリュームは複数のディスクにまたがってミラー処理、ストライプ処理、またはスパン処理することができます。システムを再起動せずにシングル ディスクやスパン ボリュームを拡張することもできます。

ディスクをアップグレードすると、そのディスクのどのボリューム上にある Windows の以前のバージョンも使用できません。

続行するには、［次へ］をクリックしてください。

今後、このウィザードを表示しない

次へ(N) >　キャンセル

クリック

4 署名するディスクを選び、［次へ］ボタンをクリックします。

ディスクのアップグレードと署名ウィザード

署名するディスクの選択
署名するディスクを選んでください。

署名するディスクを選んでください:

ディスク 1

①選択

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

②クリック

5 設定を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

選択した設定が正しいことを確認して［完了］ボタンをクリックします。
⇒署名が行われます。

ディスクのアップグレードと署名ウィザード

ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了

ディスクのアップグレードと署名ウィザードは正常に完了しました。

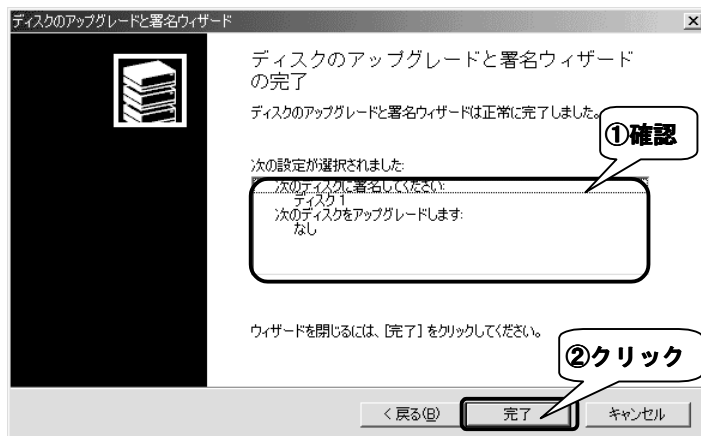
①確認

次の設定が選択されました:

次のディスクに署名してください:
ディスク 1
次のディスクをアップグレードします:
なし

ウィザードを閉じるには、［完了］をクリックしてください。

②クリック

< 戻る(B)　完了　キャンセル

次ページの【パーティションの作成とフォーマット】にお進みください。

パーティションの作成とフォーマット

1 「パーティションの作成ウィザード」を起動します。

フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックし、表示された［パーティションの作成］をクリックします。

⇒「パーティションの作成ウィザード」が起動します。

ディスク 0
(C:)
2.00 GB NTFS
正常 (システム)
(D:)
2.00 GB FAT
正常
①右クリック
②クリック
ディスク 1
ベーシック
74.56 GB
オンライン
74.56 GB
未割り当て
パーティションの作成(P)...
プロパティ(R)
ヘルプ(H)

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

パーティションの作成ウィザード

パーティションの作成ウィザードの開始

このウィザードでベーシック ディスク上にパーティションを作成できます。

ベーシック ディスクは、プライマリ パーティション、拡張パーティション、および論理ドライブを含む物理ディスクです。ベーシック ディスクには、Windows NT 4.0 とそれ以前のバージョンで作成されたボリュームを含むことができます。また、ベーシック ディスク上のパーティションには、MS-DOS を使ってアクセスできます。

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

クリック

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

3 ［次へ］ボタンをクリックします。

パーティションの作成ウィザード

パーティションの種類を選択
作成するパーティションの種類を指定してください。

作成するパーティションの種類を選んでください:

- プライマリ パーティション(P)
- 拡張パーティション(E)
- 論理ドライブ(L)

説明
プライマリ パーティションはベーシック ディスク上の空き領域を使用して作成したボリュームです。Windows 2000 と別のオペレーティング システムはプライマリ パーティションから起動できます。ベーシック ディスクには最高 4 つまでのプライマリ パーティションの作成、または 3 つのプライマリ パーティションと 1 つの拡張パーティションを作成できます。

クリック

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

拡張パーティションについて

ここでは、［拡張パーティション］を選ぶこともできます。
ハードディスクを５つ以上に分割したい場合は、「拡張パーティション」を作成する必要があります。
詳細は、Windows 2000の取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。

パーティションの作成ウィザード

パーティション サイズの指定
パーティションのサイズを選んでください。

パーティションのサイズは、最大ディスク領域よりも小さく指定してください。

最大ディスク領域:　76348 MB
最小ディスク領域:　7 MB
使用するディスク領域(A):　76348　MB

クリック

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

パーティションサイズについて

ここでは、最大値のままの設定にされています。
ハードディスクを分割したい場合は、［パーティションサイズ］を［最大ディスク領域］より小さくする必要があります。
詳細は、Windows 2000の取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

5 ［次へ］ボタンをクリックします。

パーティションの作成ウィザード
ドライブ文字またはパスの割り当て
ドライブ文字またはドライブ パスをパーティションに割り当てます。
ドライブ文字の割り当て(A): F:
ドライブ パスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする(M):
参照(R)...
ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない(D)
クリック
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

ドライブ文字について

参考

ここで割り当てたドライブ文字が、作成するドライブのドライブ文字になります。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

パーティションの作成ウィザード
パーティションのフォーマット
パーティションのフォーマットをカスタマイズできます。
このパーティションをフォーマットするかどうかを指定してください。
このパーティションをフォーマットしない(D)
このパーティションを以下の設定でフォーマットする(O):
フォーマット
使用するファイル システム(F): NTFS
アロケーション ユニット サイズ(A): 既定値
ボリューム ラベル(V): ボリューム
クイック フォーマットする(Q)
ファイルとフォルダの圧縮を有効にする(E)
クリック
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

ファイルシステムについて

参考

ハードディスクをWindows 2000のみで使う場合は、［NTFS］のままにしてください。
他のOSでも使う場合は、使うOSにも対応したファイルシステムをお使いください。
詳しくは、【ファイルシステムについて】(105ページ)をご覧ください。

7 設定を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

設定が正しいことを確認し、［完了］ボタンをクリックします。
⇒パーティションの作成とフォーマットが行われます。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。
フォーマットが終わると、「マイコンピュータ」にハードディスクのアイコンが表示されます。

8 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
②［マイコンピュータ］の中にハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。
⇒これが本製品のアイコンです。

確認

注意

ハードディスクのアイコンが増えていない
【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(94ページ)をご覧ください。

参考

本製品のアイコンの見分け方
フォーマットした後のため、本製品にはデータが何も入っていません。
ダブルクリックで開いたとき、中にファイルなどが入っていないアイコンが本製品のアイコンです。

作成したパーティションの次回からのフォーマットについて
本製品のアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

以上で本製品はフォーマットされました。
フォーマット後は、再起動せずにそのまま本製品を使えます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	
本製品を接続する	48ページ
本製品を取り外す	

本製品の電源を入れる

電源スイッチをONにしたままで、電源の入ったパソコンに接続すると、電源が入ります。（電源連動機能）

参考

電源連動機能

接続したパソコンの電源に連動して、本製品の電源が入／切されます。
この機能により、接続したままにしておくとパソコンの電源だけで本製品の電源を入／切する必要が無くなります。
条件：添付のUSBケーブルを接続し、本製品の電源スイッチがONになっていること。
※i･CONNECT対応オプションを接続した場合は、この機能は働きません。

本製品の電源を切る

操作	
●パソコン→本製品の順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る	次ページ

●パソコン→本製品の順に電源を切る

パソコンの電源を切ると、自動的に本製品の電源も切れます。（電源連動機能）

●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る

参考

USB 2.0インターフェイスをお使いの場合
手順が異なります。
各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせください。

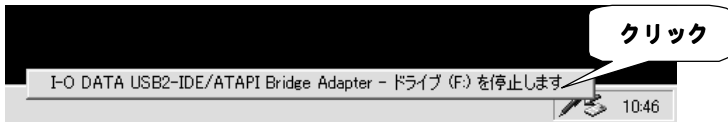
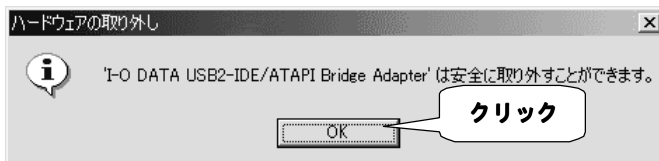
1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

クリック
10:46

2 表示された［I-O DATA USB2-IDE･･･］をクリックします。

表示された［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter･･･］をクリックします。
複数同じ表示がある場合は、表示されるドライブ文字で区別します。

クリック
I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter - ドライブ (F:) を停止します
10:46

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示される場合は、上の【●パソコン→本製品の順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

ハードウェアの取り外し
'I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter' は安全に取り外すことができます。
OK
クリック

4 本製品をUSBポートから取り外します。

⇒電源連動機能によって、本製品の電源は切れます。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源スイッチをONにします。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(46ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

Windows Me/98でお使いの場合

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

USBケーブルを使えるようにする

USBケーブルを使えるようにします。

注意

まだUSBケーブルを接続しないでください

USBケーブルは本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（52ページの手順**8**以降で接続します。）

弊社製USB 2.0機器をすでにお使いの方へ

お使いの製品に添付されているCD-ROMに「USB 2.0 CC サポートソフト」が入っているかを、CD-ROMのラベルなどでご確認ください。
入っている場合は、バージョンを確認してください。

- **バージョンが本製品のものと同じか、新しい場合**
  手順**8**にお進みください。
- **バージョンが本製品のものより古い場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。
- **「USB 2.0 CCサポートソフト」が入っていない場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。

1 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 Windows Me/98を起動します。

パソコンの電源を入れて、Windows Me/98を起動します。

3 「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

4 [DDSETUP] アイコンをダブルクリックします。

［マイコンピュータ］→［HDAPUS2_xxx］→［USB2CC］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。

順にダブルクリック

マイ コンピュータ → HDAPUS2_xxx → USB2CC → DDSETUP

5 ［インストール］を選択します。

［インストール］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

⇒自動でインストールされます。

デバイスドライバセットアップ

USB 2.0 CCのセットアップを行います。

① 選択

インストール

② クリック

アンインストール

OK　キャンセル

このような画面が表示されたときは

【USBケーブルを使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される】(99ページ)をご覧ください。

DDSETUP

ファイル "C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥TPPSTRAY.EXE" は、現在使用されています。
全てのアプリケーションを終了してから、再度本プログラムを実行してください。

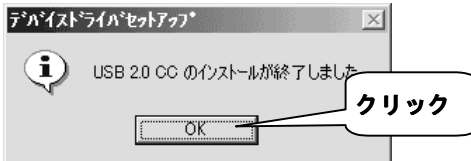
OK

6 ［OK］ボタンをクリックします。

デバイスドライバセットアップ

USB 2.0 CC のインストールが終了しました

クリック

OK

7 「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

接続する

8 ハードディスクにケーブル、ACアダプタを接続します。

①「USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）」を、「ハードディスクのUSBポート」にまっすぐに接続します。

②ハードディスクに、添付のACアダプタを接続します。

③ACアダプタを電源コンセントに接続します。

9 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを「ON」にします。

電源ランプの点灯

参考

電源連動機能により、本製品の電源ランプは点灯しません。
起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯し、本製品の電源が入ります。電源連動機能については、26ページの参考をご覧ください。

10 本製品をUSBポートに接続します。

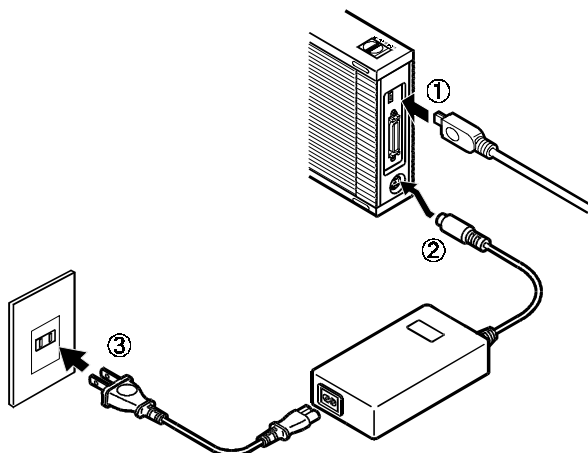
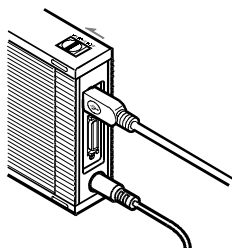
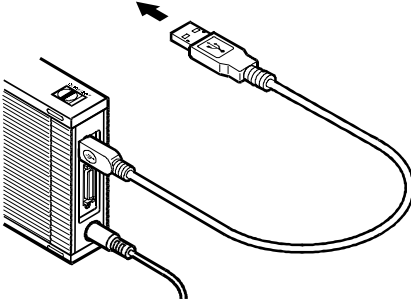
「USBケーブルのUSBコネクタ（Aタイプ）」をUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

参考

はじめて本製品を接続した場合は

「新しいハードウェア」などの画面が表示され、しばらくすると消えます。

注意

［新しいハードウェア］画面が表示されたまま消えない

［キャンセル］ボタンをクリックし、本製品をUSBポートから取り外します。
その後、本手順を最初から行ってください。

以上で、本製品は使えるようになりました。
次は、ハードディスクをフォーマットしましょう。

フォーマットしよう

本製品のフォーマットについて説明します。

フォーマットすると、データはすべて消去されます
本製品内に必要なデータがある場合は、先に、別のハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

下で説明するASPIFORMを使ってください
「マイコンピュータ」内のアイコンを右クリックして行うフォーマットおよびFDISK、FORMATコマンドでは、正常にフォーマットできません。

ASPIFORMでフォーマットしよう

パーティションコンバートツールを使わないでください
ASPIFORMで作成したFAT16のパーティションをFAT16→FAT32コンバートツール(Windows Me/98のFAT32コンバータなど)を使ってFAT32に変更しないでください。
FAT32のパーティションをお使いになりたい場合は、ASPIFORMを使用して、FAT16のパーティションを削除し、FAT32でパーティションを作成しなおしてください。
（ただし、削除したパーティションのデータはすべて失われます。
削除する前に必要なデータをバックアップすることをおすすめします。）

本製品以外の外付ハードディスクを、できるだけ取り外してください
誤ってフォーマットしてしまわないために、できるだけ取り外してください。

ASPIFORMとは？
ASPIFORMはWindows Me/98用フォーマットソフトです。
本製品をフォーマットすることができます。

パーティションは、最大５つまで作成できます
ASPIFORMで作成可能なパーティション数（区画領域数）は、最大５つです。

マウスでの操作はできません
矢印キー（[↓][↑][→][←]キー）にて選択（カーソル移動）してください。

パーティションは、最大５つまで作成できます
ASPIFORMで作成可能なパーティション数（区画領域数）は、最大５つです。

1 「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

2 [ASPIFORM] アイコンをダブルクリックします。

[マイコンピュータ] → [HDAPUS2_xxx] → [HDD] → [ASPIFORM] の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。

順にダブルクリック

マイ コンピュータ → HDAPUS2_xxx → HDD → ASPIFORM

3 本製品を選択し、↵キーを押します。

対象ドライブの選択

#0 CD-ROMドライブ HITACHI CDR-8335
#3 ハードディスク

↑↓:選択 ENTER:決定 ESC:終了

デバイス種別

選択し、↵キー

製品によって異なります。

注意

「対象ドライブが見つかりません」と表示された

【ASPIFORMで「対象ドライブがみつかりません」と表示される】(101ページ)をご覧ください。

参考

本製品がどれか分からない場合は･･･

【●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る】(64ページ)を参照し、手順2で表示される名前を参考にしてください。

他の外付ハードディスクも表示されます

それらを誤ってフォーマットしないようにご注意ください。

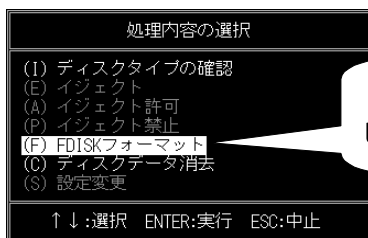
内蔵CD-ROMドライブなどが表示されることがあります

ただし、それを選択することはできません。ご安心ください。

4 「(F) FDISKフォーマット」を選択し、↵キーを押します。

処理内容の選択

(I) ディスクタイプの確認
(E) イジェクト
(A) イジェクト許可
(P) イジェクト禁止
(F) FDISKフォーマット
(C) ディスクデータ消去
(S) 設定変更

↑↓:選択　ENTER:実行　ESC:中止

カーソルを移動して、↵キーを押す

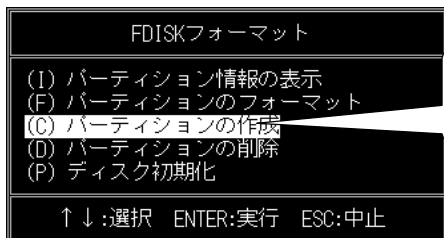
各項目の詳細について

詳しくは、【ASPIFORMの処理内容について】(59ページ) を参照してください。

5 「(C)パーティションの作成」を選択し、↵キーを押します。

FDISKフォーマット

(I) パーティション情報の表示
(F) パーティションのフォーマット
(C) パーティションの作成
(D) パーティションの削除
(P) ディスク初期化

↑↓:選択　ENTER:実行　ESC:中止

カーソルを移動して、↵キーを押す

「使用領域が不足しています」と表示された

【ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される】(101ページ) をご覧ください。

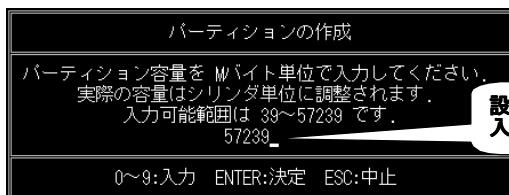
6 パーティションの容量を入力し、↵キーを押します。

最初、設定できる最大容量が表示されます。最大容量のまま設定する場合は、そのまま↵キーを押します。

設定したい容量を入力する場合は、［BackSpace］キーで表示されている容量を削除した後、設定したい容量を入力してください。

パーティションの作成

パーティション容量を Mバイト単位で入力してください.
実際の容量はシリンダ単位に調整されます.
入力可能範囲は 39～57239 です.
57239_

0～9:入力　ENTER:決定　ESC:中止

設定する容量を入力し、↵キー

7 容量を確認し、「実行」を選択して、↵キーを押します。

パーティションの作成

確保する容量は次のように調整し…
57239 (MB)
よろしいですか？
[実行]　中止

←→:移動　ENTER:決定　ESC:中止

確認し、↵キー

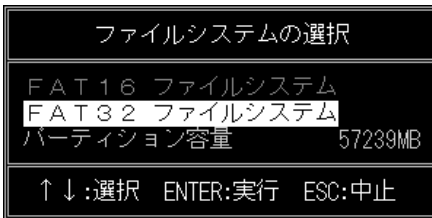
8 ファイルシステムを選択します。

⇒フォーマットが開始されます。

ファイルシステムの選択

ＦＡＴ１６ ファイルシステム
ＦＡＴ３２ ファイルシステム
パーティション容量　57239MB

↑↓:選択　ENTER:実行　ESC:中止

参考

ファイルシステムについて

手順6で指定した容量によっては、片方のみ選択可能となる場合があります。
本製品を他のOSと併用したい場合に[FAT32ファイルシステム] を選択すると、OSによっては、併用できなくなります。
詳しくは、【ファイルシステムについて】(105ページ)を参照してください。

9 「FAT32 ファイルシステム」の場合、以下が表示されます。

画面上のメッセージを確認し、作成しても良いなら「はい」を選択し、↵キーを押します。

パーティションの作成

FAT32 が選択されました.

[確認]
FAT32ファイルシステムに対応していない
OS (Windows95 OSR2 より古いバージョン
や MS-DOS など) では、FAT32で作成した
パーティションにはアクセスできません.

作成してもよろしいですか？
(はい)　いいえ

←→:移動　ENTER:決定　ESC:中止

選択し、↵キー

10 下のように表示されたら、↵キーを押します。

```
フォーマットが完了しました．ENTERキーを押して下さい．
```

11 ハードディスクの容量が残っている場合は、繰り返します。

ハードディスクの容量が残っている場合は、さらにパーティションを作成できます。手順**5**からの作業を繰り返し行い、残りの容量を確保してください。

12 ［ESC］キーを「４回」押し、ASPIFORMを終了します。

13 ウィンドウが消えない場合は、☒ボタンをクリックします。

14 「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

15 パソコンを再起動してください。

以上でフォーマットは終了です。

⇒「マイコンピュータ」に本製品のアイコンが表示されます。

参考

作成したドライブの次回からのフォーマットについて

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

ASPIFORMの処理内容について

I　ディスクタイプの確認

対象のディスクが、どのフォーマット形式に従って
フォーマットされているかを判別します。

E　イジェクト

本製品では使用できません。

A　イジェクト許可

本製品では使用できません。

P　イジェクト禁止

本製品では使用できません。

F　FDISKフォーマット

パーティション状態の表示

パーティションの状態を表示します。

パーティションのフォーマット

パーティションを選択後、論理フォーマット
します。「パーティションの作成」後には
必要ありません。

パーティションの作成

パーティションを作成し、論理フォーマット
する。（必ずこの作業をしてください）

パーティションの削除

末尾のパーティションを削除します。

ディスク初期化

本製品では使用しないでください。
「ディスクデータ消去」の「完全データ
消去」で初期化の代わりになります。
詳しくは、下をご覧ください。

C　ディスクデータ消去

簡易データ消去

データ管理情報部分のみを消去します。

完全データ消去

ディスク上のすべての情報を消去します。
この作業には大変時間がかかります。
(USB 2.0でお使いの場合、20Gバイトで
約2.5時間
USB (1.1)でお使いの場合、20Gバイトで
約7時間)

S　設定変更

ライトキャッシュの設定をします。
初期設定は「OFF」です。

確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

注意

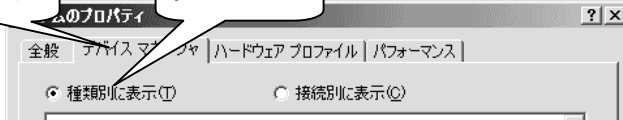
USB 2.0インターフェイスに接続する場合
各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせの上、USB 2.0インターフェイスが正常に動作しているかどうかをご確認ください。
その後、手順**9**にお進みください。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

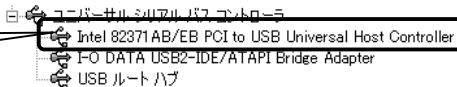
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

2 クリック
3 クリック
ムのプロパティ
全般 | デバイス マネージャ | ハードウェア プロファイル | パフォーマンス
種類別に表示(T) 接続別に表示(C)

4 USBコントローラの名前を確認します。

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

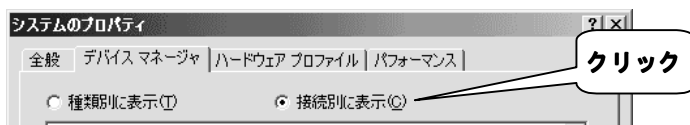
確認
ユニバーサル シリアル バス コントローラ
Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller
I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter
USB ルート ハブ

参考

USBコントローラの名前は･･･
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラが２つ以上ある場合があります
その場合は、全てのUSBコントローラを確認してください。

注意

USBコントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

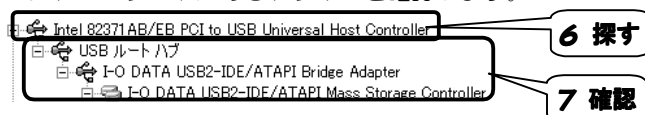
5 ［接続別に表示］を選択します。

6 USBコントローラの名前を探します。

手順4で確認したUSBコントローラを探します。

USBコントローラの位置は･･･

通常、USBコントローラは［PCIバス］の下にあります。

［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。

7 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。

［USBルートハブ］に［!］が付いている

パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter］、または［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Mass Storage Controller］に［!］が付いている

もう一度【使えるようにしよう】(50ページ)の手順を行ってください。

［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter］、または［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Mass Storage Controller］がない

【接続する】(52ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

8 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ☒ をクリックします。

9 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中にハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。

確認

注意

ハードディスクのアイコンが増えていない

【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(94ページ)をご覧ください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	**本ページ**
本製品の電源を切る	
本製品を接続する	**65ページ**
本製品を取り外す	

本製品の電源を入れる

電源スイッチをONにしたままで、電源の入ったパソコンに接続すると、電源が入ります。（電源連動機能）

参考

電源連動機能

接続したパソコンの電源に連動して、本製品の電源が入／切されます。
この機能により、接続したままにしておくとパソコンの電源だけで本製品の電源を入／切する必要が無くなります。
条件：添付のUSBケーブルを接続し、本製品の電源スイッチがONになっていること。
※i･CONNECT対応オプションを接続した場合は、この機能は働きません。

本製品の電源を切る

操作	
●パソコン→本製品の順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る	次ページ

●パソコン→本製品の順に電源を切る

パソコンの電源を切ると、自動的に本製品の電源も切れます。（電源連動機能）

●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る

参考

USB 2.0インターフェイスをお使いの場合
手順が異なります。
各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせください。

1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

クリック
22:19
リムーバブルツール

2 表示された［‥‥‥を止める］をクリックします。

複数のUSB機器を接続している場合は、［‥‥‥を止める］の後に表示されるドライブ文字にて区別します。

製品によって異なります。
クリック
を止める：ドライブ(F:)
22:19

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→本製品の順に電源を切る】(63ページ)の手順を行ってください。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

ストレージ装置を取り外しても安全です
のストレージ装置を取り外しても安全です。
製品によって異なります。
OK
クリック

注意

他のUSB機器を取り外す場合
本手順を最後までしてから、他のUSB機器の取り外し作業をしてください。

4 本製品をUSBポートから取り外します。

⇒電源連動機能によって、本製品の電源は切れます。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(63ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

Mac OS 9でお使いの場合

参考

Mac OS 9でお使いの場合は･･･
本製品はUSB 1.1機器として認識されます。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

USBケーブルを使えるようにする

USBケーブルを使えるようにします。

注意

まだUSBケーブルを接続しないでください

USBケーブルは本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（次ページの手順6以降で接続します。）

弊社製USB 2.0機器をすでにお使いの方へ

お使いの製品に添付されているCD-ROMに「USB 2.0 CC サポートソフト」が入っているかを、CD-ROMのラベルなどでご確認ください。

入っている場合は、バージョンを確認してください。

- **バージョンが本製品のものと同じか、新しい場合**
  手順6にお進みください。
- **バージョンが本製品のものより古い場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。
- **「USB 2.0 CCサポートソフト」が入っていない場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。

1 Mac OSを起動します。

パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動します。

2 「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。
⇒自動で「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」の中が表示されます。

参考

自動で開かなかった場合は・・・

デスクトップ上にあるCD-ROMのアイコン（HDAPUS2_xxx：xxxには数字が入ります）をダブルクリックしてください。

3 [Install Cypress MSC Driver-J]をダブルクリックします。

[USB2CC]→[Install Cypress MSC Driver-J]の順にダブルクリックします。

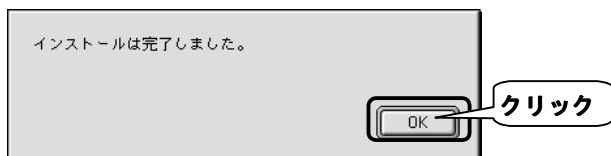
順にダブルクリック

USB2CC → Install Cypress MSC Driver-J

4 [OK] ボタンをクリックします。

インストールは完了しました。

OK

クリック

5 「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

接続する

USBポートへの接続について説明します。

6 ハードディスクにケーブル、ACアダプタを接続します。

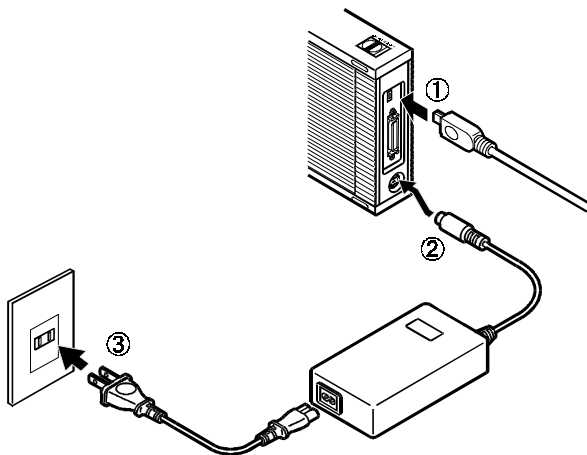
①「USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）」を、「ハードディスクのUSBポート」にまっすぐに接続します。

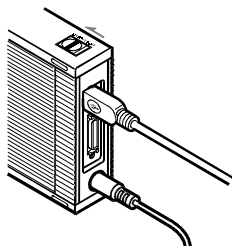
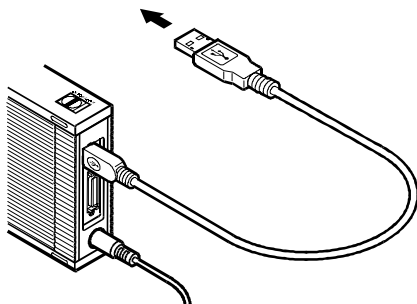
②ハードディスクに、添付のACアダプタを接続します。

③ACアダプタを電源コンセントに接続します。

①

②

③

7 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを「ON」にします。

電源ランプの点灯

電源連動機能により、本製品の電源ランプは点灯しません。
起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯し、本製品の電源が入ります。電源連動機能については、26ページの参考をご覧ください。

8 本製品をUSBポートに接続します。

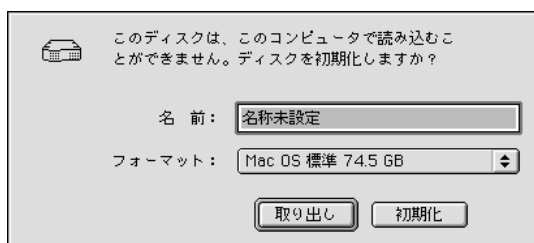
「USBケーブルのUSBコネクタ（Aタイプ）」をUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

以上で、本製品は使えるようになりました。
次に、本製品を初期化しましょう。

初期化しよう

本製品をはじめて初期化する方法を説明します。

● 初期化します。

本製品を接続すると、下の画面が表示されます。

①［名前］に本製品に付ける名前を入力します。

②［フォーマット］を選択します。

③［初期化］ボタンをクリックします。

⇒本製品の初期化が始まります。

このディスクは、このコンピュータで読み込むことができません。ディスクを初期化しますか？

名　前：名称未設定

フォーマット：Mac OS 標準 74.5 GB

取り出し　初期化

参考

［フォーマット］の選択について

［Mac OS拡張］を選択することをおすすめします。

80Gバイト以上の本製品をお使いの場合･･･

［MSDOS形式（FAT）］は選ばないでください。

以上で、本製品は初期化されました。
次に、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品が使えるかどうかを確認します。

1 本製品のアイコンが表示されている事を確認します。

デスクトップ上にハードディスクのアイコンが表示されます。

確認

注意

アイコンがない

【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(94ページ) をご覧ください。

2 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

［アップルメニュー］→［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

3 ［デバイス(装置)とボリューム］タブをクリックします。

4 ［大容量記憶デバイス(I-O DATA iU-HD)］を確認します。

［USB x］の中に［大容量記憶デバイス(I-O DATA iU-HD)］があることを確認します。

Mac OS 9.1の場合

3 クリック

Apple システム・プロフィール

システム特性 デバイスとボリューム コントロールパネル 機能拡張 アプリケーション システムフォルダ

ハブ

キーボード (M2452)

マウス (M4848)

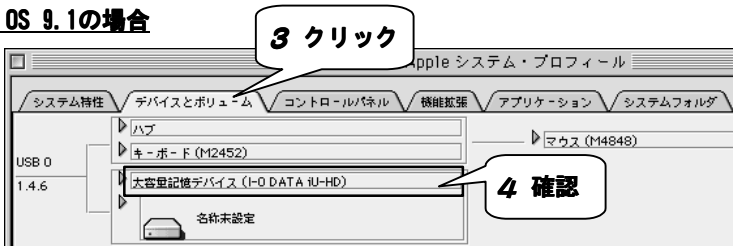
USB 0

1.4.6

大容量記憶デバイス (I-O DATA iU-HD)

名称未設定

4 確認

注意

［I-O DATA iU-HD］がない

【接続する】(69ページ) をご覧になり、接続と電源を確認してください。
それでも表示されない場合は、【サポートソフトの削除】(107ページ) の手順を行ってください。
その後、【使えるようにしよう】(68ページ) の手順を行ってください。

以上で、確認は終了です。本製品をお使いいただけます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	本ページ
本製品を接続する	次ページ
本製品を取り外す	次ページ
本製品をもう一度初期化する	75ページ

本製品の電源を入れる

電源スイッチをONにしたままで、電源の入ったパソコンに接続すると、電源が入ります。（電源連動機能）

参考

電源連動機能

接続したパソコンの電源に連動して、本製品の電源が入／切されます。
この機能により、接続したままにしておくとパソコンの電源だけで本製品の電源を入／切する必要が無くなります。
条件：添付のUSBケーブルを接続し、本製品の電源スイッチがONになっていること。
※i·CONNECT対応オプションを接続した場合は、この機能は働きません。

本製品の電源を切る

操作	
●パソコン→本製品の順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る	次ページ

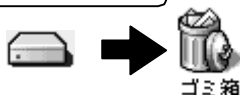
●パソコン→本製品の順に電源を切る

パソコンの電源を切ると、自動的に本製品の電源も切れます。（電源連動機能）

●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る

1 本製品内のボリュームをゴミ箱に捨てます。

ボリュームをゴミ箱の上に持っていき、放します。

⇒本製品内にある全てのボリュームの表示が消えます。

ボリュームを捨てる

ゴミ箱

2 本製品をUSBポートから取り外します。

⇒電源連動機能によって、本製品の電源は切れます。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(前ページ)をご覧ください。

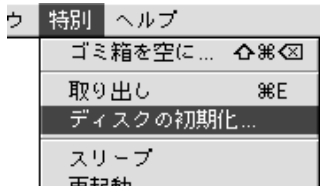
2 本製品をUSBポートから取り外します。

本製品をもう一度初期化する

本製品内に必要なデータがある場合は･･･
初期化を行うと、本製品内のデータはすべて消去されます。
別のハードディスク等にバックアップを行ってから、初期化してください。

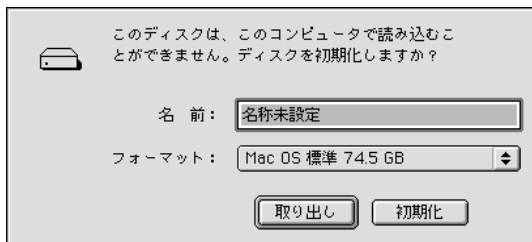
1 本製品のアイコンをクリックします。

2 ［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

ウ 特別 ヘルプ
ゴミ箱を空に… ⇧⌘⌫
取り出し ⌘E
ディスクの初期化…
スリープ

3 初期化します。

①［名前］に本製品に付ける名前を入力します。
②［フォーマット］を選択します。
③［初期化］ボタンをクリックします。
⇒本製品の初期化が始まります。

このディスクは、このコンピュータで読み込むことができません。ディスクを初期化しますか？
名　前：名称未設定
フォーマット：Mac OS 標準 74.5 GB
取り出し　初期化

［フォーマット］の選択について
［Mac OS拡張］を選択することをおすすめします。

80Gバイト以上の本製品をお使いの場合･･･
［MSDOS形式（FAT）］は選ばないでください。

Mac OS Xでお使いの場合

Mac OS Xでお使いの場合は･･･
本製品はUSB 1.1機器として認識されます。

使えるようにしよう

はじめて本製品をUSBポートに接続する際の手順について説明します。

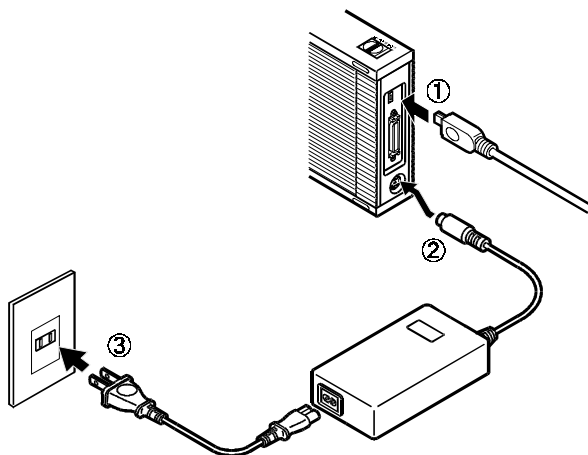
接続する

USBポートへの接続について説明します。

1 ハードディスクにケーブル、ACアダプタを接続します。

①「USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）」を、「ハードディスクのUSBポート」にまっすぐに接続します。

②ハードディスクに、添付のACアダプタを接続します。

③ACアダプタを電源コンセントに接続します。

2 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを「ON」にします。

電源ランプの点灯

電源連動機能により、本製品の電源ランプは点灯しません。
起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯し、本製品の電源が入ります。電源連動機能については、26ページの参考をご覧ください。

3 本製品をUSBポートに接続します。

「USBケーブルのUSBコネクタ（Aタイプ）」をUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

以上で、本製品は使えるようになりました。
次に、本製品を初期化しましょう。

初期化しよう

本製品を初めて接続したときの初期化を説明します。

1 本製品以外のUSBストレージを全て取り外します。

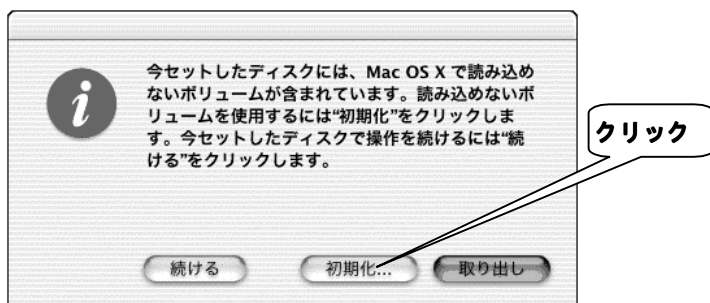
参考

「ストレージ」とは？
ハードディスク、MOドライブなどの記憶装置のこと。

2 画面が表示されたら、［初期化］ボタンをクリックします。

⇒［Disk Utility］が起動します。

今セットしたディスクには、Mac OS X で読み込めないボリュームが含まれています。読み込めないボリュームを使用するには“初期化”をクリックします。今セットしたディスクで操作を続けるには“続ける”をクリックします。

続ける　初期化...　取り出し

クリック

操作	
Mac OS 10.1	次ページ
Mac OS 10.0.3, 10.0.4	83ページ

Mac OS 10.1

1 本製品を選択します。

本製品を見分ける方法については、下の参考をご覧ください。

選択

1 ディスク と 0 ボリューム が選択されました

情報 | First Aid | 消去 | パーティション | RAID

57.27 GB IBM-
74.56 GB

ディスクの説明： SAMSUNG SV8004H Media
全体のサイズ： 74.56 GB (80,060,424,192 バイト)
接続バス： USB
接続 ID： 不明

参考

本製品を見分ける方法

本製品を選択したとき、右の［情報］タブに下記のように表示されます。

接続バス： USB

2 ［パーティション］タブをクリックします。

情報 | First Aid | 消去 | パーティション | RAID

クリック

3 本製品を初期化します。

①［フォーマット］を［Mac OS拡張］に設定します。

②［OK］ボタンをクリックします。

ボリュームの方式：
現在の設定
名称未設定

ボリューム情報
名前： 名称未設定
フォーマット： Mac OS 拡張
サイズ： 74.56 GB
変更できないようにする

オプション
Mac OS 9 ディスクドライバをインストール

ボリュームの方式を選択し、ボリューム名とファイルシステムのタイプを選択して、ボリュームのサイズを変更します。
このディスクは初期化できます。

分割 削除 元に戻す OK

① 設定

② クリック

注意

[UNIXファイルシステム]には設定しないでください

UNIXファイルシステムには対応しておりません。

参考

パーティションを分けたい場合は

［ボリュームの方式］で、パーティション数を設定します。

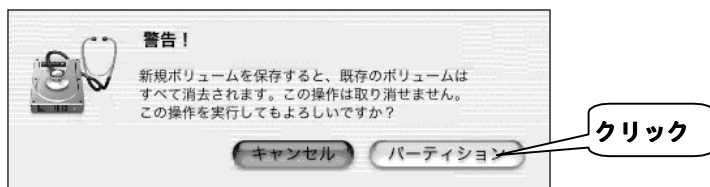
あとは、［分割］［削除］ボタンや［サイズ］を変更して、調整します。

4 ［パーティション］ボタンをクリックします。

⇒初期化が始まります。

警告！

新規ボリュームを保存すると、既存のボリュームはすべて消去されます。この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか？

キャンセル　パーティション

クリック

以上で本製品を初期化できました。

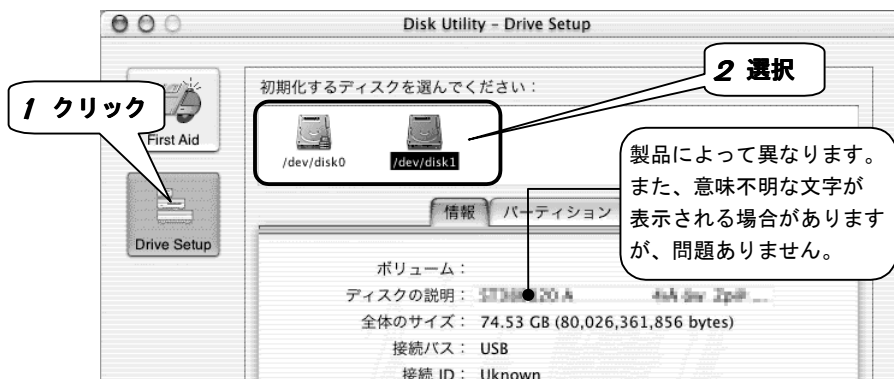
次は、85ページをご覧になり、正しく使えるか確認しましょう。

Mac OS 10.0.3, 10.0.4

1 [Drive Setup] ボタンをクリックします。

2 本製品を選択します。

本製品を見分ける方法については、下の参考をご覧ください。

参考

本製品を見分ける方法

本製品を選択したとき、下の［情報］タブに下記のように表示されます。

接続バス： USB

3 ［パーティション］タブをクリックします。

4 本製品を初期化します。

①［タイプ］を［Mac OS拡張］に設定します。

②［パーティション］ボタンをクリックします。

［タイプ：UNIXファイルシステム］には設定しないでください

UNIXファイルシステムには対応しておりません。

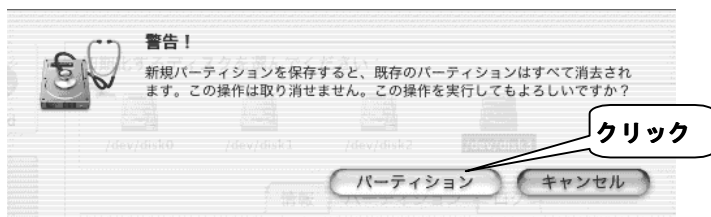
パーティションを分けたい場合は

［パーティション方式］で、パーティション数を設定します。

あとは、［分割］［削除］ボタンや［サイズ］を変更して、調整します。

※パーティションを複数作ると、［情報］タブの表示がおかしくなる場合がありますが、動作に問題はありません。

5 ［パーティション］ボタンをクリックします。

⇒初期化が始まります。

以上で本製品を初期化できました。
次は、次ページをご覧になり、正しく使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品が使えるかどうかを確認します。

1 本製品のアイコンが表示されている事を確認します。

デスクトップ上にハードディスクのアイコンが表示されます。

確認

アイコンがない

【接続する】(78ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。
また、接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

2 [Applications] を開きます。

①本製品のアイコンをダブルクリックします。

②[アプリケーション]ボタンをクリックします。

3 [Apple System Profiler] を起動します。

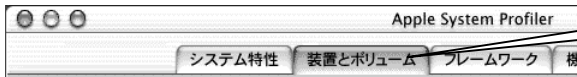
[Utilities] フォルダ→ [Apple System Profiler] の順にダブルクリックします。

順にダブルクリック

Utilities　Apple System Profiler

4 [装置とボリューム] タブをクリックします。

Apple System Profiler

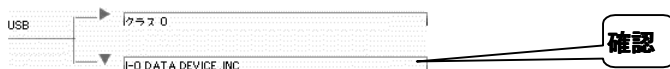
システム特性　装置とボリューム　フレームワーク　機

クリック

5 ［I-O DATA DEVICE，INC］を確認します。

［USB］の横に［I-O DATA DEVICE，INC］があることを確認します。

Mac OS 10.0.3の場合

USB
クラス 0
I-O DATA DEVICE.INC
確認

注意

［I-O DATA DEVICE，INC］がない

【接続する】(78ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

以上で、確認は終了です。本製品をお使いいただけます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	
本製品を接続する	次ページ
本製品を取り外す	
本製品をもう一度初期化する	89ページ

本製品の電源を入れる

電源スイッチをONにしたままで、電源の入ったパソコンに接続すると、電源が入ります。（電源連動機能）

参考

電源連動機能

接続したパソコンの電源に連動して、本製品の電源が入／切されます。
この機能により、接続したままにしておくとパソコンの電源だけで本製品の電源を入／切する必要が無くなります。
条件：添付のUSBケーブルを接続し、本製品の電源スイッチがONになっていること。
※i･CONNECT対応オプションを接続した場合は、この機能は働きません。

本製品の電源を切る

操作	
●パソコン→本製品の順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る	次ページ

●パソコン→本製品の順に電源を切る

パソコンの電源を切ると、自動的に本製品の電源も切れます。（電源連動機能）

●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る

1 本製品内のボリュームをゴミ箱に捨てます。

ボリュームをゴミ箱の上に持っていき、放します。

※ボリュームを上に持っていくと、ゴミ箱のアイコンが変わります。

⇒本製品内にある全てのボリュームの表示が消えます。

ボリュームを捨てる

変化

2 本製品をUSBポートから取り外します。

⇒電源連動機能によって、本製品の電源は切れます。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(73ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

本製品をもう一度初期化する

注意

本製品内に必要なデータがある場合は・・・
初期化を行うと、本製品内のデータはすべて消去されます。
別のハードディスク等にバックアップを行ってから、初期化してください。

1 ［Applications］を開きます。

①本製品のアイコンをダブルクリックします。
②［アプリケーション］ボタンをクリックします。

2 ［Disk Utility］を起動します。

［Utilities］フォルダ→［Disk Utility］の順にダブルクリックします。

順にダブルクリック

Utilities → Disk Utility

3 【初期化しよう】(80ページ)をご覧ください。

表をご覧になり、OSに合った手順をご覧ください。

付録

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

Windows XP/2000でのトラブル

Windows Me/98でのトラブル

Mac OS 9でのトラブル

Mac OS Xでのトラブル

共通のトラブル

本製品をUSBポートに接続しても認識しない

原因1 **「更新」されていない（Windowsのみ）**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因2 **接続するUSBポートによっては認識されない**

接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

原因3 **正常に認識されていない**

【確認しよう】(34,60,72,85ページ)をご覧になり、正常に認識されているか確認してください。

原因4 **他のUSB機器にバスを占有されている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）**

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

原因5 **機能拡張が競合している**

【機能拡張の競合解消方法】(104ページ)をご覧ください。

本製品を読み書きしていると他のUSB機器が認識しない

原因 **本製品がバスを占有している**

この場合すぐには、認識されません。本製品の占有が終わってから、USB機器をUSBポートに接続してください。

本製品からOSを起動できない

原因 **本製品からのOSの起動には対応していない**

本製品からOSを起動することはできません。

スタンバイから戻ると、ハードディスクが認識されていない

原因　**スタンバイから復帰する際に認識されなくなることがある**

本製品を一度取り外し、また接続してください。

USBハブに本製品を接続しているとエラーが発生する

原因　**USBハブによっては本製品が正常に動作しない**

USBハブから本製品を取り外し、パソコンのUSBポートに接続してください。

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると本製品のアイコンが２つ表示される

原因　**USB機器からの起動に対応したパソコンに接続している**

パソコンの設定により、USB機器から起動できないようにしてください。

詳しい方法については、パソコンの取扱説明書をご覧になるかパソコンメーカーにお問い合わせください。

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動の途中でパソコンが動かなくなる

原因　**USB機器からの起動に対応したパソコンに接続している**

本製品を接続したままでは起動できません。

本製品を取り外してから、パソコンを起動してください。

パソコンが起動し終えたら、本製品を接続してください。

本製品の電源ランプが点灯しない

原因1 電源スイッチがONになっていない

本製品の電源スイッチをONにしてください。

原因2 ACアダプタが電源コンセントに接続されていない

ACアダプタを電源コンセントに接続してください。

原因3 電源連動機能が働いている

本製品に添付のUSBケーブルを接続している場合、電源スイッチをONにしただけでは電源ランプは点灯しません。
電源連動機能については、26ページの参考をご覧ください。

原因4 本製品が故障している可能性がある

弊社修理係にご依頼ください。（115ページ参照）

Windows XP/2000でのトラブル

USBケーブルを使えるように（または削除）する途中でエラー画面が表示される（Windows 2000のみ）

原因 **USB機器を接続している**

USB機器を接続したままで、USBケーブルを使えるように（または削除）できません。
下記の手順を行ってください。

1 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。

DDSETUP
ファイル "C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥TPPSTRAY.EXE" は、現在使用されています。
全てのアプリケーションを終了してから、再度本プログラムを実行してください。
OK
クリック

参考
USBのCD-ROMドライブをお使いの方へ
この手順では、作業できません。
【USBのCD-ROMドライブを使っている場合の解決方法】（103ページ）の手順を行ってください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

3 もう一度、作業を行います

【使えるようにしよう】（30ページ）か、【サポートソフトの削除】（107ページ）の手順を行ってください。

フォーマットするとエラー画面が表示される

原因 **フォーマットが完了する前に終了している**

「ディスクの管理」でパーティションの作成とフォーマットをした場合、以下のメッセージが表示され、フォーマットが完了せずに「パーティションの作成ウィザード」が完了する場合があります。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。
要求を完了できません。」

この画面が表示された状態では、フォーマットはされていませんが、パーティションの作成は終わっています。

この画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。「ディスクの管理」から、作成されたパーティションを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックすることにより、作業が完了します。

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 **取り外しの正しい手順を行っていない**

【●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る】(27,47ページ)をご覧ください。

Windows Me/98でのトラブル

USBケーブルを使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される

原因 USB機器を接続している

USB機器を接続したままで、USBケーブルを使えるように(または削除)できません。
下記の手順を行ってください。

1 [OK] ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。

DDSETUP

ファイル "C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥TPPSTRAY.EXE" は、現在使用されています。
全てのアプリケーションを終了してから、再度本プログラムを実行してください。

OK

クリック

参考

USBのCD-ROMドライブをお使いの方へ
この手順では、作業できません。
【USBのCD-ROMドライブを使っている場合の解決方法】(103ページ)の手順を行ってください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器(キーボード、マウスを除く)を取り外します。

3 もう一度、作業を行います

【使えるようにしよう】(50ページ)か、【サポートソフトの削除】(107ページ)の手順を行ってください。

・本製品を接続すると、パソコンが止まる
・本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる

原因 **本製品の接続や電源が正常ではない**

【接続する】(52ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 **取り外しの正しい手順を行っていない**

【●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る】(64ページ)を行ってから、取り外してください。

PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

原因 **[デバイスマネージャ]タブが表示されない設定になっている**

1 「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。

[スタート]→[プログラム]→[Cyber Trio-NX]([NXユーティリティ],[NXの設定])→[Cyber Trio-NXセットアップ]を起動します。

2 「アドバンスドモード」にします。

「アドバンスドモード」にチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

3 Windowsを再起動します。

自動で再起動されます。

ASPIFORMで「対象ドライブがみつかりません」と表示される

原因 本製品の接続や電源が正常ではない

1 ASPIFORMを終了します。

［ESC］キーを数回押し、ASPIFORMを終了します。
ウィンドウが残る場合は、 X ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

2 接続と電源を確認します。

【接続する】(52ページ)をご覧になり、接続と電源を確認します。

ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される

原因 すでにパーティションは作成されている

フォーマットの必要はありません。そのままお使いください。
パーティションを作り直したい場合は、本製品内の必要なデータをバックアップした後で、【ASPIFORMの処理内容について】(59ページ)をご覧になり、「簡易データ消去」を行い、【フォーマットしよう】(54ページ)の手順を最初から行ってください。

Mac OS 9でのトラブル

接続したまま起動すると本製品のアイコンが変わる

原因　**USBマネージャのバージョンによっては、USB機器を接続したまま起動すると、OS標準のドライバが使われる**

弊社では、USBマネージャ 1.3.5, 1.3.6で現象を確認しております。

このような場合、本製品を接続せずにパソコンを起動し、OSが完全に起動してから接続してください。

Mac OS Xでのトラブル

「Disk First Aid」で意味不明な文字が表示されたり、エラーが発生する

原因　**ボリューム（パーティション）の名前に日本語が使われている**

意味不明な文字が表示されるだけの場合は、動作に問題はありません。

エラーが表示される場合は、半角英数字のみを使って名前を付けてください。

USBのCD-ROMドライブを使っている場合の解決方法

これは、【USBケーブルを使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される】(97,99ページ)の問題解決のための手順の１つです。

1 「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

CD-ROMドライブに、「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

2 データをデスクトップにコピーします。

「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」内の［USB2CC］フォルダを、デスクトップにコピーします。

> **コピー方法**
> ①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
> ②CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
> ③［USB2CC］フォルダをクリックします。
> ④メニューから［編集］→［コピー］をクリックします。
> ⑤デスクトップを右クリックします。
> ⑥表示されたメニューの中の［貼り付け］をクリックします。
> ⇒［USB2CC］フォルダがコピーされます。

3 「HDA･HDP/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

4 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

5 ［DDSETUP］アイコンをダブルクリックします。

［USB2CC］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。
この後、エラー画面が表示された手順に戻り、作業を続けてください。

機能拡張の競合解消方法

これは、【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(94ページ)の問題解決のための手順の１つです。手順例は、Mac OS 9.1のものです。

1 「機能拡張マネージャ」を開きます。

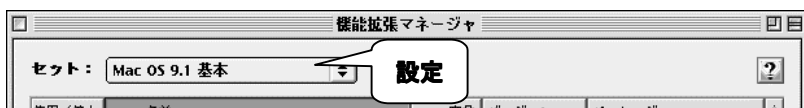
［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2 ［セット］を［Mac OS xx 基本］に設定します。

※ xxにはMac OSのバージョンが入ります。

機能拡張マネージャ

セット： Mac OS 9.1 基本

設定

3 ［セットの複製］ボタンをクリックします。

⇒［セット］が［Mac OS xx 基本のコピー］になります。

4 ［Cypress MSC Driver］に［×］を付けます。

5 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒Mac OSが再起動します。

使用／停止	名前	容量	バージョン	パッケージ
☒	Color Picker	492K	J1-2.1.1	Mac OS ...
☒	ColorSync 機能拡張	832K	J1-3.0.3	ColorSy...
☒	Cypress MSC Driver	192K	3.1	Cypress ...
☒	DNSPlugin	120K	J1-1.1.3	Mac OS ...
☒	DrawSprocketLib	120K	J1-1.7.5	Mac OS ...
☒	DVD Decoder Library	416K	J1-1.3	Mac OS ...
☒	DVD Region Manager	24K	J1-1.0	Mac OS ...
☒	EnetShimLib	16K	J1-1.4.6	Mac OS ...

3 クリック

4 付ける

5 クリック

再起動後に有効になります　再起動　元に戻す　セットを複製...

▷ 項目情報を表示

6 本製品の動作を確認します。

ハードディスクのアイコンが画面に表示されていることを確認します。また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することもご確認ください。動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

ファイルシステムについて

ハードディスクを複数のOSで併用して使う場合は、併用するOSのすべてで認識できるファイルシステムにてパーティションを作成しなくてはいけません。
ここでは、各OSがどのファイルシステムに対応しているかについて説明します。

OS毎の使用できるファイルシステム

OSによって、使用できる（作成できる）ファイルシステムが異なります。
複数のOSでハードディスクを併用する際のパーティションの作成時には、下の表を参照して併用できるファイルシステムを確認してください。

例えば、Windows MeとWindows 2000では、「FAT32」「FAT16(FAT)」のファイルシステムでハードディスクにパーティションを作成（フォーマット）すれば併用できます。（「NTFS」でパーティションを作成すると併用できなくなります。）

使用OS(バージョン)	ファイルシステム		
	NTFS	FAT32	FAT16 (FAT)
Windows Me	×	○	○
Windows 98	×	○	○
Windows 2000	○	○※1	○※2

○：使用可　×：使用不可

※1 作成できる容量と認識できる容量が異なることにご注意ください。
※2 他のOSと併用する場合には、１パーティションのサイズを「2047Mバイト」以下に設定する必要があります。

ファイルシステムとその特徴

●Windows XP/2000

ファイルシステム	特徴
NTFS	１つのパーティションあたりの最大容量は、「約408,000,000Tバイト」です。 ただし、Windows Me/98ではアクセスできません。
FAT32	１つのパーティションあたりの作成できる最大容量は、「約32Gバイト」です。 ただし、Windows Me/98でフォーマットされたFAT32のパーティションを「約2Tバイト」まで認識できます。
FAT(16)	１つのパーティションあたりの最大容量は、「約4Gバイト」です。 ただし、Windows 98などで使用する場合は、「2,047Mバイト」までにする必要があります。

●Windows Me/98

ファイルシステム	特徴
FAT32	１つのパーティションあたりの最大容量は、「約2Tバイト」です。
FAT16	１つのパーティションあたりの最大容量は、「2,047Mバイト」です。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

操作	
Windowsでの削除	本ページ
Mac OS 9での削除	109ページ

Mac OS Xをお使いの方へ
削除は必要ありません。Mac OS Xでは、サポートソフトを使っていません。

Windowsでの削除

1 本製品をUSBポートから取り外します。

【本製品を取り外す】(48,65ページ)を参照してください。

2 「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

3 [DDSETUP]アイコンをダブルクリックします。

[マイコンピュータ]→[HDA_US2_xxx]→[USB2CC]→[DDSETUP]の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。

順にダブルクリック

マイ コンピュータ → HDA_US2_XXX → USB2CC → DDSETUP

4 [アンインストール]を選択します。

[アンインストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

デバイスドライバセットアップ

USB 2.0 CCのセットアップを行います。

○ インストール
◉ アンインストール

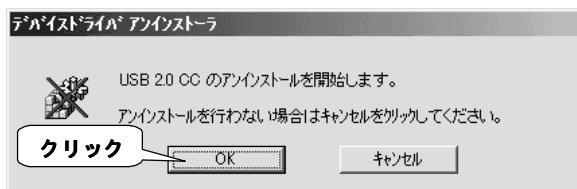
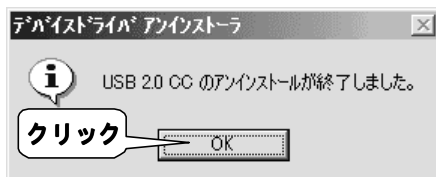
OK　キャンセル

①選択
②クリック

5 [OK] ボタンをクリックします。

デバイスドライバ アンインストーラ
USB 2.0 CC のアンインストールを開始します。
アンインストールを行わない場合はキャンセルをクリックしてください。
クリック
OK
キャンセル

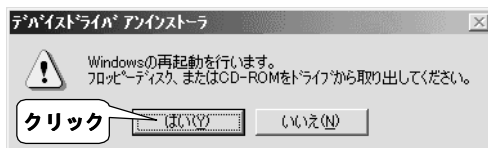
6 [OK] ボタンをクリックします。

デバイスドライバ アンインストーラ
USB 2.0 CC のアンインストールが終了しました。
クリック
OK

7 「HDA・HDP/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

8 [はい] ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。
　これでサポートソフトの削除は完了です。

デバイスドライバ アンインストーラ
Windowsの再起動を行います。
フロッピーディスク、またはCD-ROMをドライブから取り出してください。
クリック
はい(Y)
いいえ(N)

参考

本手順後に他のUSB機器の認識が異常になる場合は
認識が異常になったUSB機器のインストールをもう一度行ってください。

これで「USBケーブル」の削除は完了です。

Mac OS 9での削除

1 本製品をUSBポートから取り外します。

（【本製品を取り外す】（74ページ）参照）

2 ［機能拡張］を開きます。

［起動ボリューム］→［システムフォルダ］→［機能拡張］の順にダブルクリックします。

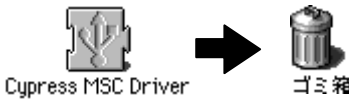
順にダブルクリック

システムフォルダ
機能拡張

3 ［Cypress MSC Driver］を削除します。

機能拡張の中にある［Cypress MSC Driver］をゴミ箱に捨てます。

ゴミ箱に捨てる

Cypress MSC Driver
ゴミ箱

4 パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。

これで「USBケーブル用ソフトウェア」の削除は完了です。

参考

「機能拡張マネージャ」を起動すると･･･

「このセットの中にコンピュータにインストールされていない機能拡張があります」と表示されます。
この場合、表示された画面にあるどちらのボタンをクリックしても問題ありません。
※［OK］ボタンをクリックするとインストールされていない機能拡張の情報が保存されます。

用語解説

i･CONNECT [アイコネクト]

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格。
i･CONNECT搭載ドライブは、別売のi･CONNECT対応オプションと接続することにより「USB」接続、「IEEE1394(FireWire,i.LINK)」接続、または「PCカード」接続ドライブとして使用できる。

参考

i･CONNECT対応オプションの動作環境

弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）にて最新情報を掲載しています。

i･CONNECT対応オプションのセットアップ

i･CONNECT対応オプションの取扱説明書をご覧ください。

i･CONNECT対応オプション使用時のご注意

- 「添付のUSBケーブル」と「i･CONNECT対応オプション」を、同時に接続しないでください。
- i･CONNECT対応オプションを使って本製品を接続した場合、電源連動機能は使えません。
  電源連動機能については、26ページの参考をご覧ください。

USB(Universal Serial Bus) [ユーエスビー]

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つです。接続のしやすさ、増設のしやすさなどの特徴があります。また、「USB 1.1」と「USB 2.0」の2つのバージョンがあります。

最大転送速度（理論値）

規格	最大転送速度
USB 2.0	480Mbps
IEEE 1394	400Mbps
USB 1.1	12Mbps

フォーマット

ハードディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

ハードウェア仕様

●HDA-iUシリーズ

ハードウェア仕様については、別紙をご覧ください。

●USBケーブル

対応規格	i･CONNECT規格およびUSB 2.0準拠
転送方式	コントロール転送／バルク転送／インタラプト転送
転送速度	USB 2.0　480Mbps（理論値） USB 1.1　12Mbps（理論値）
動作温度	+5℃～35℃
動作湿度	20～80%　（結露なきこと）
外形寸法	44（W）× 56（L）× 14（H）mm （コネクタおよびケーブル含まず）
ケーブル長	約100cm
質量	約80g

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット	**http://www.iodata.co.jp/support/**

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「HDA-iUシリーズ」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3688　東京　03-3254-1095
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

サポートライブラリ　　http://www.iodata.jp/lib/

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「HDA-iUシリーズ」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
　①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
　②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
　　（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
　（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
　　※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
　　バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
　※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
　※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）